

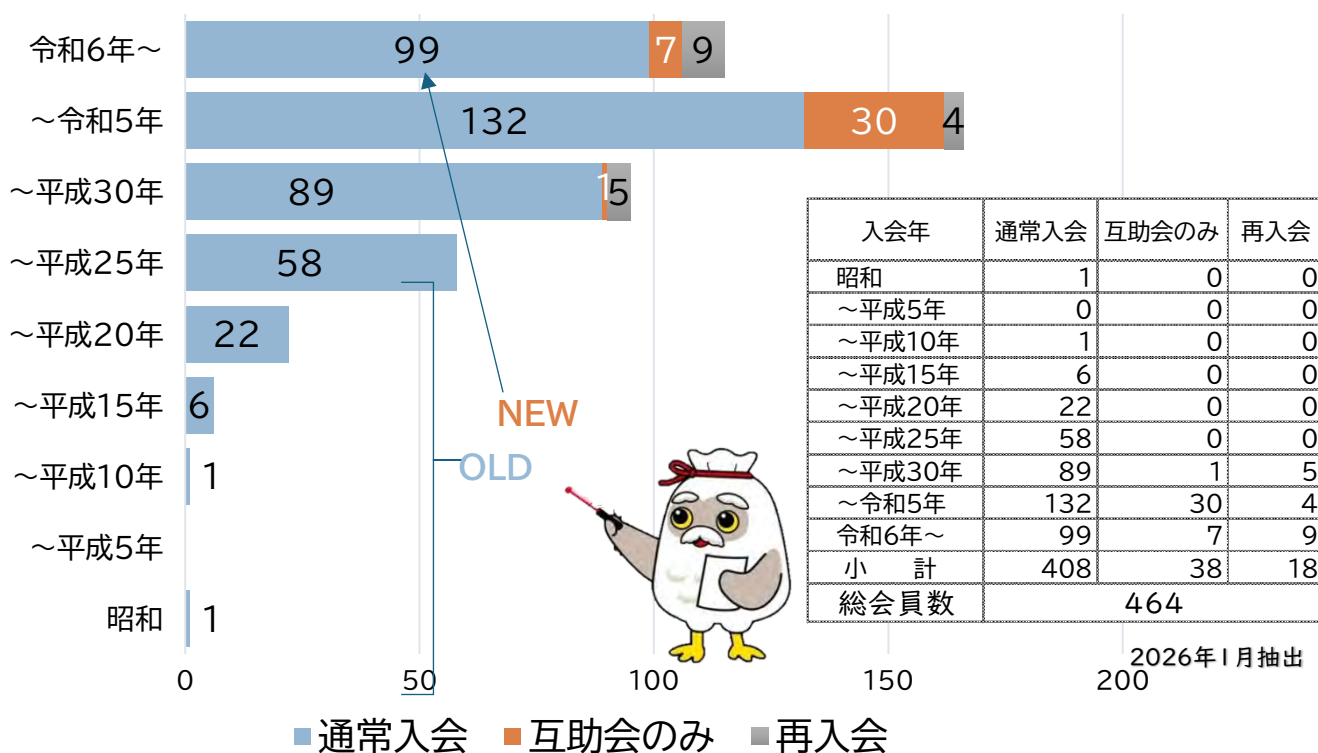
# 令和7年度 会員アンケート結果報告書

## 1. 調査目的

入会会員数が近年やや減少傾向にあることを受け、入会促進・活動継続・情報発信の改善を目的として、入会年度の異なる会員を対象にアンケートを実施した。

## 2. 調査対象と回収状況

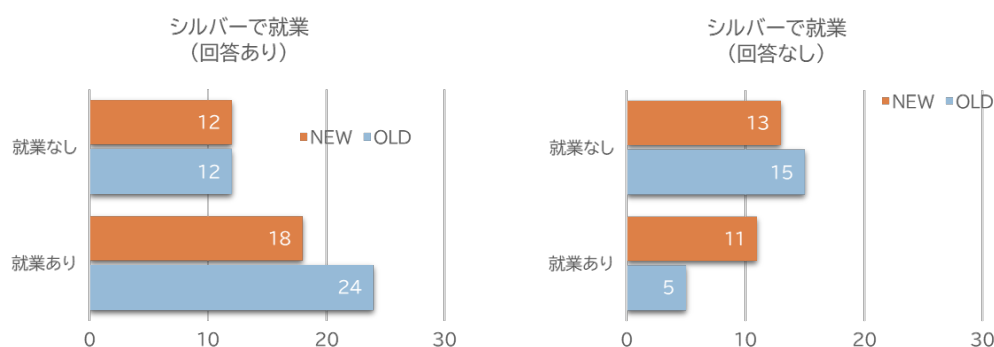
### 入会年別会員数



- 配布数: 110名 (郵送: 100名 班長会議配布: 10名)

- 回収数: 66名 (回収率 60%) (古い会員: 36名 新しい会員: 30名)

シルバーでの就業状況(重要)による回答数の違い※エイジレスより抽出



- ※両面印刷だったため、裏面の回答漏れや設問1・2については内容を読み違えていると思われる回答が多かった。

### 3. 設問別の結果

#### (1) 入会理由(複数回答)(設問3)

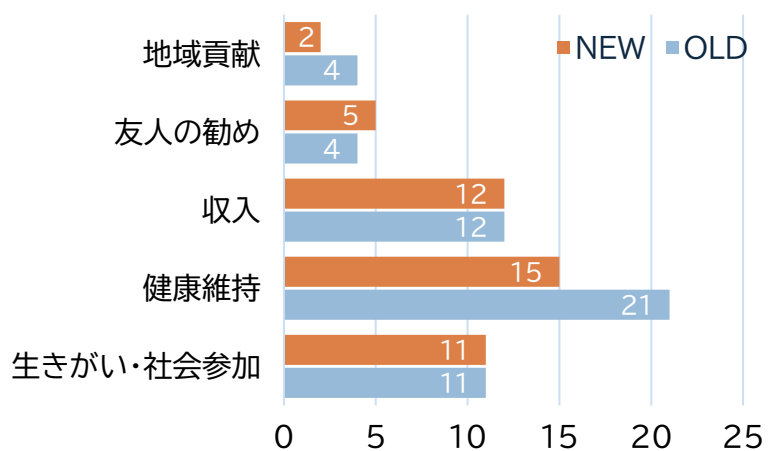
・OLD・NEWともに、

健康維持

収入

生きがい&社会参加

入会理由(複数選択可)

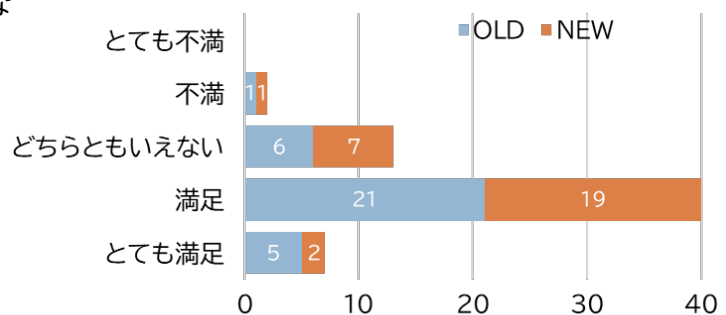


#### (2) 現在の満足度(設問4)

- OLD・NEWともに「満足」が多数、不満は少数。

参考:回答者の多くが現在シルバーで就業していることが大きな要因と思われる。

満足度



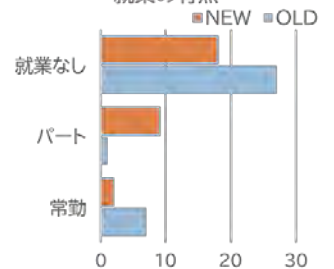
#### (3) シルバー以外での就業の有無(設問1)

- OLD:常勤 7、パート 1、なし 26

- NEW:常勤 2、パート 9、なし 18

※シルバーでの就業と混同して回答した可能性大なので、参考程度

シルバー以外での就業の有無



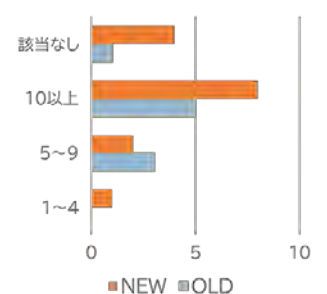
#### (4) 就業日数(設問2)

- OLD:月 5~10 日が中心- NEW:10 日以上の割合が高い

→ NEW の働く意欲は特に強い。

※シルバーでの就業と混同して回答した可能性大なので、参考程度

月あたりの平均就業日数



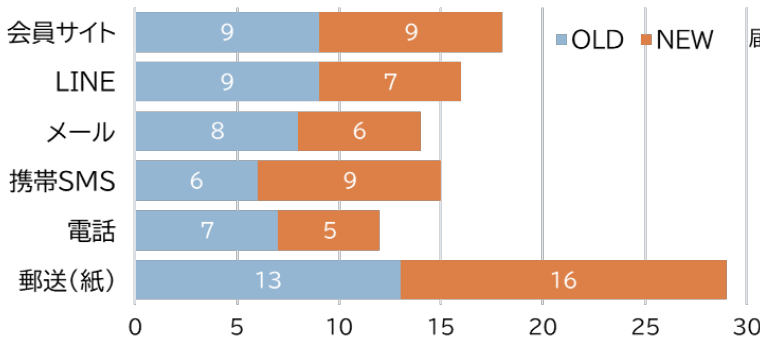
(5) 情報の受け取り方(設問10)

(6) シルバー伊東の読み方(設問12)

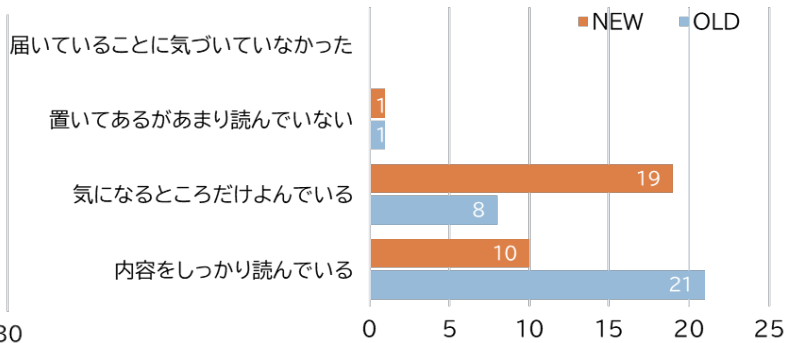
→ 紙+デジタル併用が必須。

-OLD:しっかり読む - NEW:気になるところだけ読む。

情報の受け取り手段



シルバー伊東について

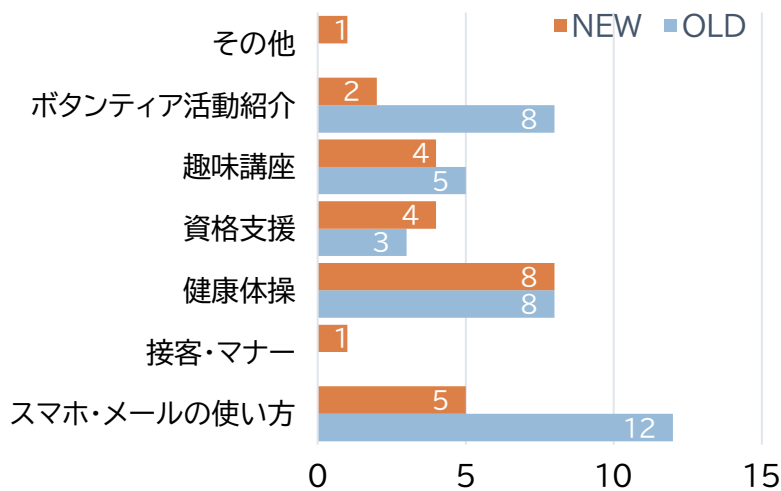


(7) 求める研修内容(複数選択可)(設問7)

古い会員は健康維持や地域とのつながりを重視する項目が多く、新しい会員は「資格支援」「接客・マナー」など、仕事につながる実用的な研修を求める傾向が見られる。

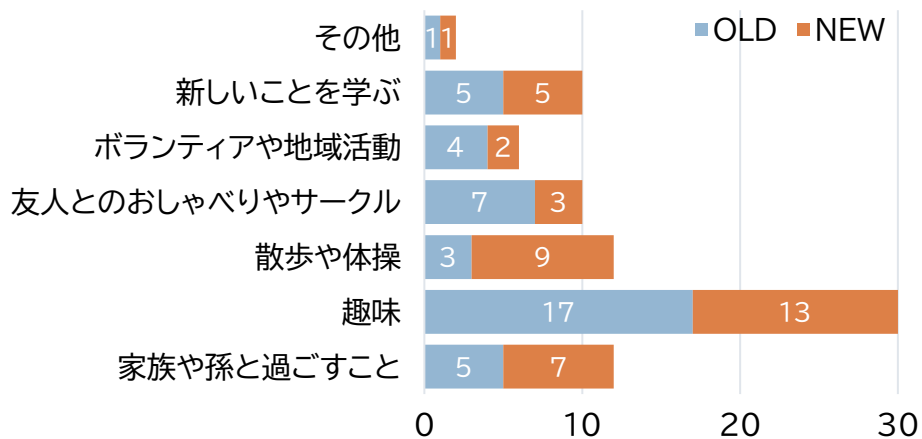
一方で「健康体操」は両層で高く、健康維持は共通のニーズであることが分かる。

求める研修内容



(8) 今いちばん楽しいこと(複数選択可)(設問8)

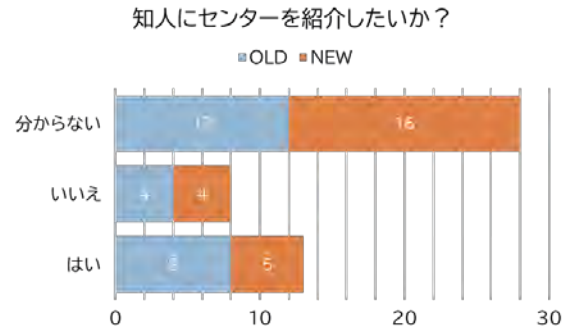
今いちばん楽しいことは?



(9) 知人にセンターを紹介したいか(設問9)

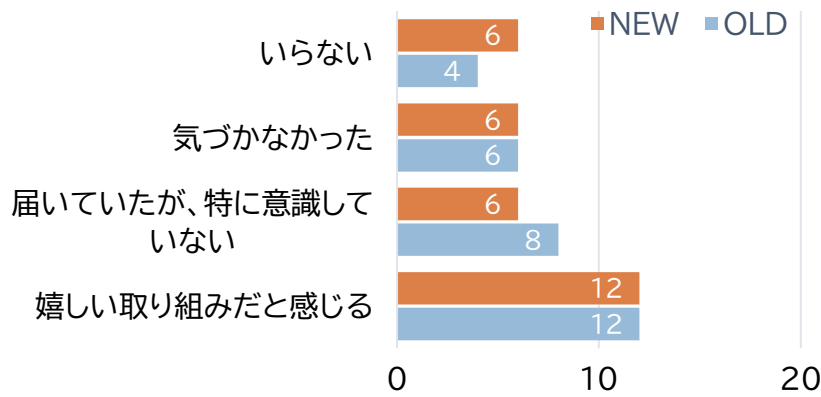
紹介しない・わからない理由

知人がいない・少ない(移住者なので)	4
知人が高齢者	2
仕事がない	4
既に自分で仕事を持っている	1



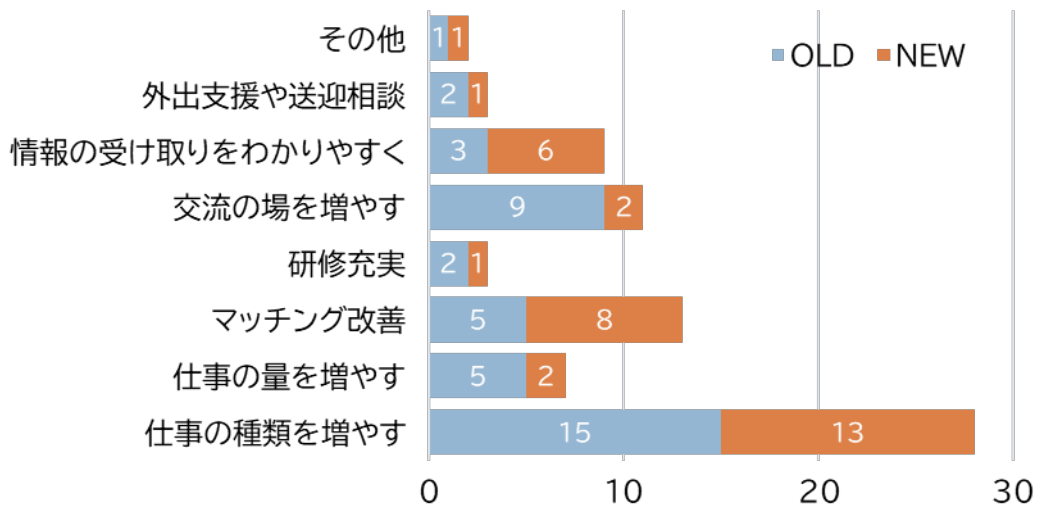
(10) 誕生日や年始の SMS メッセージについて(設問11)

SMSでの会員向けメッセージ



(11) センターへの要望(数選択可)(設問5)

センターに期待すること



(12) 設問6「活かしたい技能や経験」に回答いただいた方は20名でした。内容は以下のようになっています。

運転、物の修理、英語翻訳、草刈り・剪定(2名)、事務関係、観光案内、園芸、内装、防火・防災  
園芸・花壇の手入れ、運転・介護士、測量業務、草刈り・塗装・清掃、お料理、調理、歴史学  
店舗マネジメント、清掃、介護

#### 4. 総合分析（全設問を踏まえた結論）

- 入会促進の最大の鍵は「仕事の拡充」
- 情報発信は紙+デジタルの併用が必須
- SMS・LINE の活用が効果的
- 研修の充実が入会促進と就業促進の両方に効く

#### 5. まとめ

今回のアンケートから、「働きたい」という前向きな気持ちは年代を問わず共通していることが明確。

この意欲に応える環境づくりが、入会促進とセンター活性化の鍵となる。